

2004

環境・社会報告書

- トップメッセージ…………… 3
- 会社概要…………… 5
- 企業理念…………… 7

I 環境報告…………… 8

環境マネジメント…………… 8

- 環境方針…………… 8
- 企業活動と環境への影響…………… 9
- 環境ニューボランタリプラン…………… 9
- 組織体制…………… 10
- 環境マネジメントシステムの状況…………… 10
- 環境監査…………… 11
- 環境会計…………… 13
- 環境教育…………… 15
- 環境事故など…………… 15
- 環境コミュニケーション…………… 16
- 2003 年度実績総括と 2004 年度目標…………… 17
- [参考]「富士重工環境保全取り組み計画」…………… 19

開発段階・商品…………… 21

- 自動車部門…………… 21
 - 燃費…………… 21
 - 軽量化について…………… 22
 - 排出ガス…………… 24
 - 騒音…………… 25
 - LCA の取り組み…………… 25
 - クリーンエネルギー自動車…………… 26
 - 省エネルギー型エンジンの産・学・官共同開発…………… 26

- [参考] 平成22年度燃費基準値、排出ガス規制値…………… 27
- 航空宇宙・産業機器・エコテクノロジー部門…………… 28
 - 航空宇宙カンパニー…………… 28
 - 産業機器カンパニー…………… 29
 - エコテクノロジーカンパニー…………… 30

生産段階…………… 32

- 廃棄物削減…………… 32
- 水使用量低減の取り組み…………… 33
- 省エネルギー(地球温暖化防止)…………… 34
- 化学物質管理(PRTR制度)…………… 34
- 環境負荷物質の削減…………… 35
- 環境に配慮した活動の事例…………… 36
- グリーン調達…………… 36

リサイクル…………… 37

- 高効率・低コストリサイクル社会への貢献…………… 37
- リサイクル関連法規への対応…………… 38
- 設計段階…………… 39
- 生産段階…………… 40
- 販売・サービス段階…………… 42
- 廃棄段階…………… 42
- 使用済自動車の処理…………… 43

物流段階…………… 45

- 完成車輸送における環境負荷の低減…………… 45
- 補修用部品輸送における環境負荷低減…………… 45
- 海外向けのノックダウン部品梱包資材の削減…………… 45

関係会社における活動…………… 46

- 国内関係会社…………… 46
- 海外関係会社…………… 48

2003年度 トピックス

環境マネジメント
(10 ページ)



2004年1月、本社(東京都新宿区)とエンジンやトランスミッションなどパワーユニット関連の研究開発部門がある東京事業所(東京都三鷹市)において、環境マネジメントシステム規格 ISO14001 の認証を取得しました。

生産段階
(33 ページ)



群馬製作所が「平成15年度リデュース・リユース・リサイクル(3R)推進功労者等表彰」において、3R 推進協議会会長賞を受賞しました。全員参加でのゼロエミ達成、自社焼却炉の廃止、塗料カス資源化技術などが評価されました。

開発段階・商品
(21 ページ)



スバル R2

2003年5月に新型「レガシィ」を、12月に新型軽自動車「スバルR2」を発売しました。ボディ構造の刷新や新技術の採用などにより徹底した軽量化を図り、エンジン性能の向上などもあり、環境性能も大きく向上しました。

社会貢献
(62 ページ)



2003年7月、群馬製作所 矢島工場内に「スバルビジターセンター」を開設しました。スバルの代表的技術の展示、スバル車の展示のほか、テクラボ、リサイクルラボでクルマの製造にかかわる紹介をしています。

SIAの活動	48
RMIの活動	49
SOAの活動	50
SCIの活動	50
SRDの活動	50

II 社会性報告 51

コンプライアンス 51

基本的な考え方	51
体制と運営	51
2003年度活動実績の概要	52

お客様とのかかわりにおいて 53

安全なクルマづくり	53
人に優しいクルマづくり	54
お客様に満足いただくために	55

従業員とのかかわりにおいて 58

雇用	58
人材育成	58
障害者雇用への取り組み	59
福利厚生	60
安全衛生・健康	60

社会とのかかわりにおいて 62

社会貢献活動	62
地域活動	63
各種イベントへの協力、寄贈・支援	64
受賞など	64

III 資料編 65

工場サイトデータ 65

群馬製作所	65
宇都宮製作所	66
埼玉製作所	67
伊勢崎事業所	68
東京事業所	68

商品データ 69

自動車	69
発電機	70

その他のデータ 70

環境への取り組みの歴史 71

用語解説 73

■この「2004 環境・社会報告書」では昨年の「2003 環境報告書」に対して次の内容を追加して記載しております。

1. 持続的発展のために企業の社会的責任への取り組みが要求されつつあり、社会性に関する報告を「社会性報告」として独立し、昨年よりも充実した内容と致しました。
..... P51-P64
2. 昨年度までは会社概要の中でいくつかの経済的な指標を報告致していましたが、「経済指標」として新たにページを設けました。
..... P6
3. 2003年度の主な話題を目次のページにまとめました。
..... P1

はじめに

■本「環境・社会報告書」について

- 報告対象範囲
 - 2003年度(2003年4月～2004年3月)の主として環境保全に関する取り組みおよび、社会性に関する取り組み(コンプライアンス、お客様とのかかわり、従業員とのかかわり、社会とのかかわりなど)の実績を記載しております。なお、ご説明の関係から2004年度初めの実績も一部含んでいます。
 - 主に日本における富士重工業の事業活動ですが、当社グループとしての取り組みもご紹介するため、国内連結対象会社の中で、環境負荷が多いとされる製造・物流に関する企業7社についての活動実績も記載致しました。また、北米の関係会社5社で構成する北米環境委員会の活動も記載しております。
- 参考としたガイドライン
 - 環境省「環境報告書ガイドライン(2000年度版)」、「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」
 - 環境省「環境会計ガイドライン(2000年版)」、「環境会計ガイドライン(2002年版)」
- 次回発行予定
 - 前回の発行は2003年6月でした。次回は2005年夏頃を予定しています。

■コーポレートシンボルの設定について

富士重工業は2003年7月15日に1953年の創立から数えて50周年を迎えました。これを機会に、従来、自動車事業スバルのブランドマークであった「六連星」を企業全体のシンボル(コーポレートシンボル)に設定しました。

同時に、従来のスバルのロゴをコーポレートロゴとし、コーポレートシンボル「六連星」と組み合わせ活用していくことにしました。(下記参照)

なお、富士重工業がこれまで社章として用いてきた^①マークは、コーポレートシンボルの設定により廃止されます。

